

## ■地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策

	単位	量の見込み・確保				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
時間外保育事業	人/年	33	33	32	32	31
放課後児童健全育成事業	人/年	154	147	146	136	142
地域子育て支援拠点事業	人回/月	1,086	1,006	960	938	917
一時預かり事業	幼稚園での預かり保育	104	156	208	208	208
	その他の一時預かり	340	341	333	336	319
病児・病後児保育事業	人日/年	179	180	176	177	168
利用者支援事業	か所	1	1	1	1	1
	子育て世代包括支援センター「kurumu」	人日/年	17,280	17,280	17,280	17,280
妊婦健診	人回/年	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
産婦健診	人回/年	180	180	180	180	180
産後ケアデイサービス	人回/年	192	192	192	192	192
乳児家庭全戸訪問事業	人/年	77	81	80	78	75
養育支援訪問事業	人/年	2	2	2	2	2

○確保方策のポイント ・全ての事業において、見込み量に対する確保体制が整っていることに加え、今後のニーズに応じて、さらなる充実を図ります。

## 計画の推進体制

### ■多様な主体との連携による推進

本計画は、行政だけでなく、様々な分野との関わりが必要であり、家庭をはじめ、保育所、認定こども園、学校、地域、その他関係機関・団体との連携を図り、計画を推進します。

また、地域住民が、子どもが地域社会とのつながりによって健やかに育まれることを認識し、子育ての意義や重要性について関心を深め、様々な取り組みに主体的に関わっていただけるよう、しくみづくりを推進します。

### ■情報提供・周知

本町ではこれまで、子育て支援に関する情報及び利用方法等を町の広報誌やホームページを活用し、公開してきました。

今後も、本計画の進捗状況や町内の多様な施設・サービス等の情報を、広報媒体やインターネット、パンフレット等の作成、配布等を通じた周知拡大・啓発に努めます。

### ■進捗管理・評価

計画の実現のためには、計画に即した事業がスムーズに実施されるように管理するとともに、計画の進捗状況について需要と供給のバランスがとれているかを把握し、年度ごとの実施状況及び成果を点検・評価し、検証していきます。

# 第2期高浜町 子ども・子育て支援事業計画

概要版

令和2年度～令和6年度



第2期高浜町子ども・子育て支援事業計画[概要版]

発行年月:令和2年3月 発行:高浜町保健福祉課  
〒919-2201 福井県大飯郡高浜町和田117-68  
TEL:0770-72-2493 FAX:0770-72-2081

令和2年3月  
高浜町

## 高浜町の子育て支援の“もと”となる計画が完成しました。

### 「子ども・子育て支援事業計画」って？

★5年に1度策定する、子ども・子育て支援にかかる総合的な計画です。

この計画は、子ども・子育て支援法第61条に基づく市町村子ども・子育て支援事業計画で、本町の子ども・子育て支援にかかる総合的な計画として位置づけられるものです。

平成27年度から令和元年度を計画期間とする第1期計画が満了となり、第2期計画の期間は令和2年度から令和6年度までの5か年となります。計画の最終年度である令和6年度には、計画の達成状況の確認と見直しを行います。また、状況の変化等により必要に応じて中間年での見直しを行います。

### 高浜町が目指す子育て支援のすがた ～目指すべきまちの将来像～

子育て家庭を取り巻く環境の多様化が進む中、子どもや親一人ひとりの状況や思いに応じた子育てを実現することができるよう、引き続き子育て支援の充実を図ります。

子どもが元気に育ちあうまち たかはま  
親が幸せに子育てできるまち たかはま  
子育てを優しく支えるまち たかはま

- 基本目標1 地域社会で子どもを育むまち
- 基本目標2 安心して子どもを育てられるまち
- 基本目標3 親子が健やかに過ごせるまち
- 基本目標4 配慮を必要とする方を支えるまち



## 高浜町の子育て支援における基本的な視点・評価指標

目指すべきまちの将来像の実現のため、3つの基本的な視点とともに、それぞれの視点に評価指標を設け、子育て支援にかかる取り組みを進めていきます。

子どもの  
視点

子どもの幸せを第一に考え、子どもの考えや利益が最大限に尊重されるよう配慮し、大人になって高浜町で「子どもを生み・育てたい」と思えるような取り組み、まちづくりを推進します。

**指 標**

子どもたちが —

- ①自分にはよいところがあると思う
- ②将来の夢や、目標を持っている
- ③自分が健康であると感じている
- ④高浜町への愛着度

(出典)  
①・②：全国学力・学習状況調査  
③・④：健康増進計画

現在よりも  
5.0ポイント  
UP↑

親の  
視点

核家族化や女性の社会進出等の進行により、子育てをしながら不安や孤独を感じる親が増えている中、親が安心して子どもを生み・育てることができ、心から子育てを楽しむことができる環境の整備を推進します。

**指 標**

親が —

- ①今後も高浜町で子育てしていきたい
- ②子育てに対して幸せを感じている

(出典)  
①：健やか親子評価  
②：子ども子育て支援事業計画

100%を  
目指します

地域の  
視点

地域のつながりや支え合いが希薄化する中で「子どもは地域の宝」「地域の子どもは地域で育てる」という意識のもと、社会全体が子育て家庭に目を向け、あらゆる人々が自分の知識と経験を活かしながら、子育て支援に関わっていける環境づくりを推進します。

**指 標**

地域住民が —

- ①地域での子育て支援の輪を広げていくために取り組んでいきたいことがある
- ②子育て支援活動に参加している
- ③魅力ある職場づくりとして「子育てや介護などへの支援」に力を入れたい企業の増加

(出典)  
①～③：総合計画

現在よりも  
25%以上  
UP↑

### \*子どもの人口は、減少が続くことが予測されます。

子ども（18歳未満）の人口は減少傾向となっており、平成31年には1,607人となっています。  
今後も減少を続けると、令和6年には1,420人となり、平成31年から187人減少することが予測されています。

年度	0～5歳	6～11歳	12～14歳	15～17歳	合計
平成27年	523	570	321	341	1,755
平成28年	502	562	334	334	1,732
平成29年	487	541	316	322	1,666
平成30年	490	538	285	318	1,631
平成31年	482	503	295	327	1,607
令和2年	472	508	264	309	1,553
令和3年	473	487	272	281	1,513
令和4年	462	466	255	291	1,474
令和5年	466	448	262	260	1,436
令和6年	442	457	251	270	1,420

資料：【実績】住民基本台帳(各年3月末)  
【推計】コーホート変化率法(平成27～31年の男女別各歳別人口をもとに、1年ごとの変化率を算出し、前年人口に乘じる算出方法)

02

03

## “まちの将来像”の実現に向けて取り組みます。

### ■基本目標1 地域社会で子どもを育むまち

高浜町においても、核家族化や地域のつながりの希薄化から、子育て家庭の悩み・不安の増大、孤立化が懸念されます。また、情報化の進展等、子どもが育つ環境もめまぐるしく変化しています。

子育ては個人や家庭のみで行われるものではなく、社会全体で行うものとして捉え、地域社会で子どもを育むまちをめざします。

#### (1) 地域における子育て支援体制の充実

妊娠期から子育て期にわたるまでの家庭が、孤立することなく安心して子育てができるよう子育て世代包括支援センター「kurumu」を拠点に、関係機関と連携し、切れ目のない支援を進めます。また子どもたちが地域との交流の中で安心して過ごせるよう、地域における支援体制の充実を進めます。

- ① 地域における子育て支援サービスの充実を図ります。
- ② 充実した子育て情報の発信、相談しやすい体制を整備します。
- ③ 子どもの多様な居場所づくりの充実を図ります。

#### (2) 地域における子育てネットワークの充実

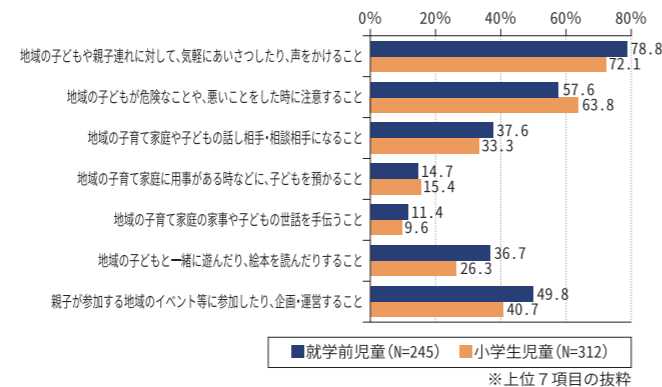
地域全体で子育てを支えていくため、子育て支援に関わる関係機関が連携を図るとともに、地域が子育てについて関心を持てるよう、情報発信を行います。また親子の交流や地域の交流等を通じ、一人で子育てを行うのではなく、地域全体で支えられていると感じられるよう、仲間づくりのネットワークの構築を進めます。

- ① 保護者同士で支えあえる関係づくりへの支援・育成を行います。
- ② 地域全体で子育てを支える支援ネットワークづくりを推進します。

#### \*もっと、地域との関わりを増やしていきたい。

住民アンケート（令和元年度実施）の結果の中では、今後、子育てを通じて地域の人とつながり、子育て支援の輪を広げていくために取り組んでいきたいことについて、あいさつに関する項目は7割以上となっています。

さらに、危険なことや悪いことをした時に注意することや、地域イベント等への参加等、家庭や子どもの話し相手・相談相手になることについても6割から4割近い回答があり、地域と積極的に関わっていききたい意向がうかがえます。



### ■基本目標2 安心して子どもを育てられるまち

多様な就労形態による共働き家庭が増加し、仕事と家庭の両立が大きな課題となっています。子育て支援サービスの充実を図るとともに、教育・保育サービスの充実等子育てしながら働きやすい環境の整備や、育児休業の取得等社会全体への啓発を図ることで、仕事と子育ての両立の支援ができるまちづくりを推進します。

また、子どもを健全に育てるための環境整備や犯罪等の被害から守るための活動等を推進し、安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。

#### (3) 仕事と子育ての両立の支援

就労形態の多様化や女性の社会進出が進む中、仕事と子育ての両立は、重要な課題となっています。一時的に保育を必要とする人を含むすべての人が、安心して子どもを預けることができるよう、教育・保育サービスの提供・充実を図ります。

また、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれる多様な働き方を選択できるよう、社会全体に対する男女共同参画への理解の浸透や、育児・介護休業法等の制度の普及・定着への働きかけに努めます。

- ① 多様化する保育ニーズに対応する施設整備や認定こども園への移行に取り組みます。
- ② 町内の事業所との連携を図り、多様化する保育ニーズに適切な支援を図ります。
- ③ 男女共同参画や働き方の見直しについての意識啓蒙、イクボスの普及を推進します。

#### (4) 親子が安全・安心に暮らせるまちづくり

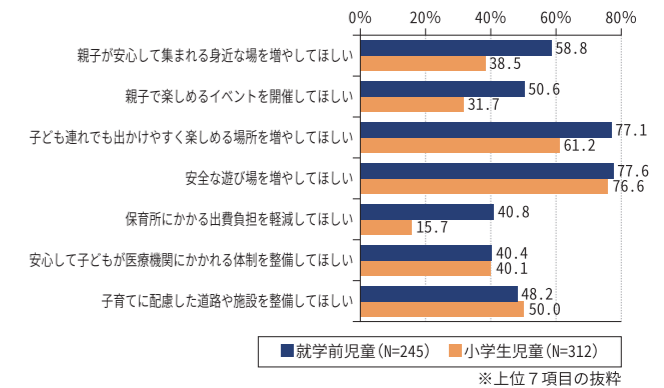
公園等の整備や既存施設の有効活用を通じて、子どもの安全な遊び場・居場所の確保を行うとともに、子育て家庭にやさしい環境の整備を行います。

また、子どもたちを交通事故や犯罪・災害から守るための取り組みや、近年全国的に家庭の経済的困窮による子どもの貧困が課題となっており、子育てに関する経済的支援の充実を図ることで、安心して子育てできるまちづくりを推進します。

- ① 公園等の整備や遊具点検、周辺の外灯の設置等、安全・安心に過ごすことができる居場所の確保・創出を図ります。
- ② 子どもや親子が安心して外出できる環境整備や地域の見守りにより、地域と子どもたちとの関わりを促進します。
- ③ 子ども医療費や児童手当等、各種手当の適切な支給を実施し、子育てに関する経済的負担の軽減を図ります。

#### \*遊び場や、楽しめる場所への期待が高まっています。

住民アンケート（令和元年度実施）の結果の中では、「安全な遊び場を増やしてほしい」が就学前児童で77.6%、小学生児童で76.6%と最も高く、次いで「子ども連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」が就学前児童で77.1%、小学生児童で61.2%となっており、期待が高まっています。



## ■基本目標3 親子が健やかに過ごせるまち

高浜町の豊かな自然と歴史・文化に富んだ環境や地域の人材等の資源を活かして、親子が豊かな心や健全な身体を育み、健やかに過ごすことが望めます。

また、妊娠期から子育て期までの切れ目のない相談・支援を行う拠点である子育て世代包括支援センター「kurumu」における母子保健・医療体制の整備や子どもの健康づくりの推進、子どもの成長を支える親を含めた教育環境の整備、子育て支援の総合的な提供を行う認定こども園の整備を図ることで、親子が健やかに過ごせるまちをめざします。

### (5)母子保健・医療体制の整備

子どもが健やかに生まれ、成長していくためには、子どもの健康のみならず、その保護者も健康であることが重要です。妊娠期、出産期、新生児期、乳幼児期及び学童期を通じて切れ目なく親子の健康が確保されるよう、母子保健・医療体制の整備を推進していきます。

- ① 母子の健康づくりの啓発・健康支援の充実を図ります。
- ② 継続した育児不安解消のための支援を推進します。
- ③ 医療機関と連携し、切れ目ない支援の提供体制の整備・充実を図ります。

### (6)子どもの健康づくりの推進

教育・保育施設や学校における健康づくりは、次世代の健康づくりとして極めて重要です。妊娠期から中学生までの子どもに関する機関で構成する「子どもの健康づくり検討委員会」において情報・意識共有を図り「子どもたかま健康づくり10か条」を推進していきます。また子どもの健康づくりを通じ、保護者や家族へ健康づくりを波及させていきます。

- ① 「子どもたかま健康づくり10か条」をもとに、子どもの発達段階に応じた地域ぐるみの健康づくりを推進します。
- ② 学校医や保育所医・園医による健康なからだづくりの推進を図ります。

### (7)子どもの健やかな成長を支える教育環境の整備

教育は、人間形成として必要な資質を養うとともに、豊かな個性や社会性を培うための学力と健やかな身体、広い心を育てる重要な役割を担っています。次代の担い手である子どもが、未来への夢や目標を抱き、信頼される人として育っていけるよう、今後も基礎的な知識や技術の習得・向上とともに、豊かな心や生きる力を育み、子どもの健やかな成長を支える教育環境の整備を推進していきます。

- ① 次世代の親を育成するための教育を推進します。
- ② 学校教育、家庭教育、地域での教育環境の充実を図ります。
- ③ 児童の健全育成支援の充実を図ります。

## ■基本目標4 配慮を必要とする方を支えるまち

児童虐待やいじめ等の問題に対する予防や早期発見・対応に向けて、社会全体の意識啓発や関係機関の連携による継続的な支援体制の充実を図ります。また、ひとり親家庭へ自立支援や障がいのある子どもへの支援等きめ細やかな支援体制を整備します。

### (8)専門的な支援を必要とする児童へのきめ細やかな取り組みの推進

高浜町では、各課及び関係機関が連携し、専門的な支援を必要とする児童及び子育て家庭に寄り添い、きめ細やかな取り組みを推進していきます。

- ① 虐待に対する意識啓蒙や相談・防止体制の充実を図り虐待のないまちづくりを推進します。
- ② いじめや不登校への対応の充実を図ります。
- ③ ひとり親家庭や生活困窮家庭等への支援の充実を図ります。
- ④ 国際化による外国につながる児童への支援・配慮を推進します。
- ⑤ 障がいのある子どもへの支援体制の充実を図ります。

## 事業量の見込みと確保方策

高浜町においては、1か所で全町的な利用ニーズに対応している事業等も多く、効率的に資源を活用できるよう、教育・保育提供区域を1圏域（全町）と設定しつつ、地域のニーズに応じた教育・保育、地域子ども・子育て支援事業の整備に努めます。

## ■教育・保育の量の見込みと確保方策

### ○3つの認定区分

1号認定	教育標準時間認定	子どもが3～5歳で、教育を希望	→	幼稚園、認定こども園
2号認定	満3歳以上・保育認定	子どもが3～5歳で、保育が必要	→	保育所、認定こども園
3号認定	満3歳未満・保育認定	子どもが0～2歳で、保育が必要	→	保育所、認定こども園

### ○量の見込み・確保方策のポイント

(単位:人/年)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	確保方策のポイント
1号認定 (3～5歳、 教育希望)	①量の見込み	7	12	21	21	21	・教育ニーズについて、私立認定こども園による提供体制を確保します。 ・公立保育所においても、教育ニーズに対応できるよう、認定こども園への移行に向けて取り組みます。
	②確保の内容	15	15	25	25	25	
	②-①	8	3	4	4	4	
2号認定 (3～5歳、 保育希望)	①量の見込み	204	228	214	222	205	・公立保育所及び私立認定こども園の利用定員数を確保方策の人数としています。定員数が計画期間中におけるニーズ量を上回っていることから、確保体制は整っているといえます。 ・令和4年度以降、公立保育所においても、認定こども園への移行に向けて取り組みます。
	②確保の内容	247	247	237	237	237	
	②-①	43	19	23	15	32	
3号認定 (0～2歳、 保育希望)	①量の見込み	131	132	127	126	123	
	②確保の内容	146	146	146	146	146	
	②-①	15	14	19	20	25	